

# 青森県経済統計報告

平成 28 年 9 月 1 日

企画政策部統計分析課

## 1 青森県の推計人口(平成 28 年 8 月 1 日現在)..... 1

県人口	1,295,216 人 (対前月 631 人減少)
自然動態	531 人減少 (出生者数 716 人、死亡者数 1,247 人)
社会動態	100 人減少 (転入者数 1,637 人、転出者数 1,737 人)

## 2 本県の経済動向 (平成 28 年 6 月・7 月の経済指標を中心として)

### (1) 経済概況

本県経済は、緩やかに持ち直している。

### (2) 主要経済指標の動向

- (2-1) 生産動向 ・平成 28 年 6 月の**青森県鉱工業生産指数**(平成 22 年=100)は、季節調整済指数が 107.6 で、前月比 8.9%の上昇となり、2 カ月ぶりに前月を上回った。また、原指数は 112.1 で、前年同月比 0.5%の上昇となり、2 カ月ぶりに前年同月を上回った。 ... 2
- (2-2) 雇用労働 ・平成 28 年 6 月の**定期給与**は 215,232 円で前年同月比 1.1%減となった。 ... 3  
**総実労働時間**は 157.8 時間で前年同月比 1.6%減、**所定外労働時間**は 10.2 時間で前年同月比 9.7%減となった。  
・平成 28 年 7 月の**有効求人倍率**(季節調整値)は 1.10 倍で、前月を 0.03 ポイント上回った。  
・**雇用保険受給者実人員**は 6,591 人で、前年同月比 12.7%の低下となった。
- (2-3) 物 価 平成 28 年 7 月の**青森市消費者物価指数**(平成 27 年=100)は、総合指数が 99.3 となり、前月比 0.2%の下落、前年同月比 0.8%の下落となった。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は 100.7 となり、前月と同水準、前年同月比 0.5%の上昇となった。 ... 5
- (2-4) 個人消費 ・平成 28 年 7 月の**百貨店・スーパー販売額**は、全店舗ベースが 141 億円で前年同月比 0.2%増となり、3 カ月ぶりに前年同月を上回った。また、既存店ベースでは前年同月比 0.9%減となり、5 カ月連続で前年同月を下回った。  
・平成 28 年 7 月の軽自動車を含めた**乗用車新車登録・届出台数**は 3,848 台で、前年同月比 5.1%減となり、2 カ月連続で前年同月を下回った。  
・平成 28 年 7 月の**観光入込客数**は、主な観光施設が 998 千人で前年同月比 6.9%増となり、2 カ月連続で前年同月を上回った。また、主な宿泊施設は 140 千人で前年同月比 4.0%増となり、2 カ月連続で前年同月を上回った。 ... 6
- (2-5) 建 設 ・平成 28 年 7 月の**新設住宅着工戸数**は 687 戸で、前年同月比 13.0%増となり、6 カ月連続で前年同月を上回った。  
・平成 28 年 7 月の**公共工事請負額**は 187 億 6,500 万円で前年同月比 13.1%減となり、2 カ月ぶりに前年同月を下回った。 ... 7
- (2-6) 企業倒産 平成 28 年 7 月の**企業倒産**は、件数は 2 件で前年同月比 33.3%減となった。負債総額は 2,200 万円で前年同月比 86.4%減となった。 ... 8

### (3) 景気動向指数 C I (平成 28 年 5 月分) ..... 9

先行指数	98.0 (前月を 2.8 ポイント下回り、3 カ月ぶりに下降した)
一致指数	139.8 (前月を 20.7 ポイント下回り、3 カ月ぶりに下降した)
遅行指数	122.1 (前月を 0.3 ポイント下回り、6 カ月ぶりに下降した)

# 1 青森県の推計人口（平成28年8月1日現在）

## 【概況】

平成28年8月1日現在の本県推計人口は、1,295,216人で、前月に比べ631人の減少となった。

### ○自然動態

出生者数が716人、死亡者数が1,247人で、531人の減少となった。

### ○社会動態

転入者数が1,637人、転出者数が1,737人で、100人の減少となった。

総人口の推移

(単位：人)

	総数	性別		対前月増減率	増減数	自然増減数	自然増減数		社会増減数	県外からの転入者数	県外への転出者数
		男	女				出生者数	死亡者数			
昭 45.10.1	1,427,520	685,477	742,043	-	10,929	-	-	-	-	-	-
50.10.1	1,468,646	707,232	761,414	-	41,126	-	-	-	-	-	-
55.10.1	1,523,907	735,444	788,463	-	55,261	-	-	-	-	-	-
60.10.1	1,524,448	731,439	793,009	-	541	-	-	-	-	-	-
平 2.10.1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-	-	-
7.10.1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-	-	-
12.10.1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-	-	-
17.10.1	1,436,657	679,077	757,580	-	-39,071	-	-	-	-	-	-
22.10.1	1,373,339	646,141	727,198	-	-63,318	-	-	-	-	-	-
27.8.1	1,308,552	614,004	694,548	-0.055%	-720	-620	724	1,344	-100	1,695	1,795
27.9.1	1,307,723	613,658	694,065	-0.063%	-829	-669	713	1,382	-160	1,670	1,830
27.10.1	1,308,649	614,608	694,041	-	-693	-592	736	1,328	-101	1,521	1,622
27.11.1	1,307,847	614,210	693,637	-0.061%	-802	-774	707	1,481	-28	1,447	1,475
27.12.1	1,307,015	613,840	693,175	-0.064%	-832	-758	745	1,503	-74	1,057	1,131
28.1.1	1,306,105	613,420	692,685	-0.070%	-910	-782	724	1,506	-128	1,052	1,180
28.2.1	1,304,977	612,833	692,144	-0.086%	-1,128	-889	777	1,666	-239	912	1,151
28.3.1	1,303,776	612,287	691,489	-0.092%	-1,201	-881	662	1,543	-320	1,088	1,408
28.4.1	1,297,762	609,149	688,613	-0.461%	-6,014	-740	743	1,483	-5,274	3,828	9,102
28.5.1	1,297,549	609,213	688,336	-0.016%	-213	-715	711	1,426	502	3,450	2,948
28.6.1	1,296,650	608,687	687,963	-0.069%	-899	-731	707	1,438	-168	1,254	1,422
28.7.1	1,295,847	608,327	687,520	-0.062%	-803	-641	689	1,330	-162	1,126	1,288
28.8.1	1,295,216	608,047	687,169	-0.049%	-631	-531	716	1,247	-100	1,637	1,737

7月中の人口動態の推移

(単位：人)

年月		平 18.7	19.7	20.7	21.7	22.7	23.7	24.7	25.7	26.7	27.7	28.7
自然動態	出生者数	914	948	895	804	845	796	827	813	840	724	716
	死亡者数	1,131	1,215	1,162	1,234	1,227	1,214	1,306	1,301	1,296	1,344	1,247
	自然増減数	-217	-267	-267	-430	-382	-418	-479	-488	-456	-620	-531
社会動態	県外からの転入者数	1,930	1,939	1,886	1,949	1,681	2,013	1,829	1,760	1,584	1,695	1,637
	県外への転出者数	2,153	2,254	1,856	1,981	1,759	1,952	1,875	1,754	1,665	1,795	1,737
	社会増減数	-223	-315	30	-32	-78	61	-46	6	-81	-100	-100
増減数計		-440	-582	-237	-462	-460	-357	-525	-482	-537	-720	-631

※1 昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17、22年は国勢調査人口（確定値）。

※2 平成22年11月1日から平成27年9月1日までの人口は平成22年国勢調査人口（確定値）を基礎に推計している。

※3 平成27年10月1日現在の人口は、平成27年国勢調査人口速報集計結果（総務省統計局 平成28年2月26日）を用いているため、9月1日現在の推計人口に9月中の増減数を加えた数値とは一致しない。

※4 平成27年11月1日以降の人口は、平成27年国勢調査人口速報集計結果（総務省統計局 平成28年2月26日）を基礎に推計している。

※5 増減数は、昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17、22年が前回国勢調査、その他が前月推計人口に対するものである。

※6 算出方法

県の推計人口＝前月の人口＋自然増減数（出生者数－死亡者数）＋社会増減数（県外からの転入者数－県外への転出者数）

## 2 本県の経済動向

### (2) 主要経済指標の動向

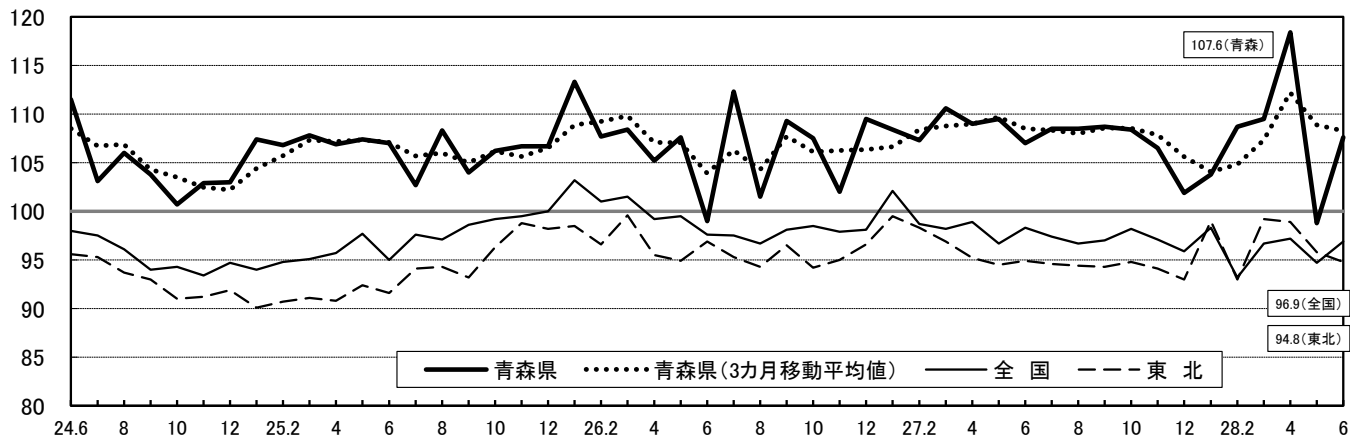
#### (2-1) 生産動向

平成28年6月の青森県鉱工業生産指数(平成22年=100)は、季節調整済指数が107.6で、前月比8.9%の上昇となり、2カ月ぶりに前月を上回った。また、原指数は112.1で、前年同月比0.5%の上昇となり、2カ月ぶりに前年同月を上回った。

季節調整済指数で前月からの動きをみると、生産用機械工業、金属製品工業、業務用機械工業などが上昇に寄与した一方、非鉄金属工業、パルプ・紙・紙加工品工業、石油・石炭製品工業などが低下し、鉱工業全体では8.9%の上昇となった。

青森県・全国・東北の鉱工業生産指数推移(季節調整済指数)

(平成22年=100)

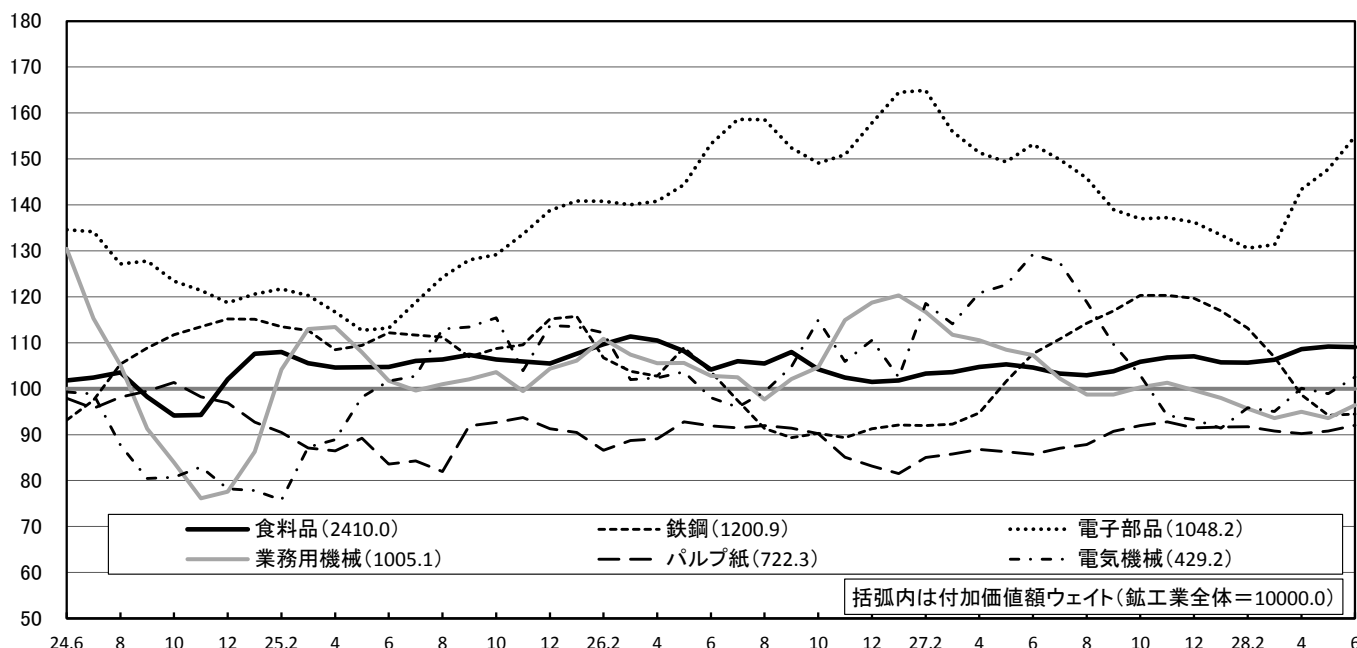


◎業種別動向(前月比) 鉱工業全体 8.9%

プラス			マイナス		
業種	前月比(%)	寄与率(%)	業種	前月比(%)	寄与率(%)
生産用機械工業	293.3	33.7	非鉄金属工業	-9.5	-3.5
金属製品工業	55.5	22.0	パルプ・紙・紙加工品工業	-4.1	-2.8
業務用機械工業	14.6	13.0	石油・石炭製品工業	-21.1	-1.8
電子部品・デバイス工業	7.5	11.7	印刷業	-13.7	-1.8
鉄鋼業	7.4	8.5	ゴム製品工業	-14.6	-0.4

主要業種の生産動向(季節調整済指数・3カ月移動平均値)

(平成22年=100)



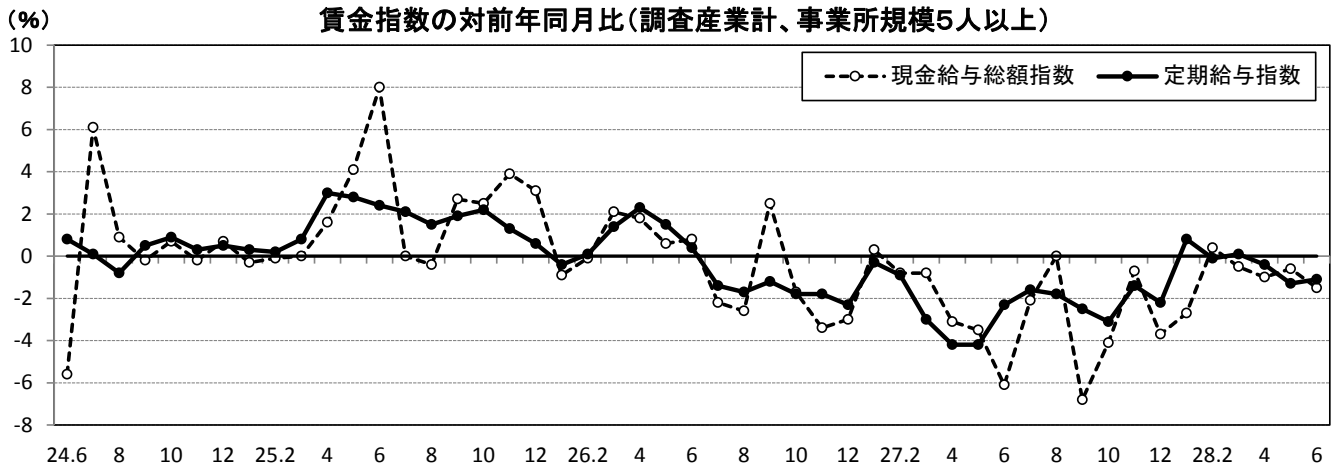
資料：県統計分析課「青森県鉱工業生産指数(速報)」

## (2-2) 雇用労働

### (2-2-1) 給与・労働時間（毎月勤労統計調査結果）

平成28年6月の定期給与は215,232円で定期給与指数（平成22年=100）では97.8となり、前年同月比1.1%減と3カ月連続の減（現金給与総額329,119円、現金給与総額指数127.6、前年同月比1.5%減）となった。実額で比較した定期給与の全国対比は82.6となった。

総実労働時間は157.8時間で、総実労働時間指数は102.1となり、前年同月比1.6%減と3カ月連続の減となった。このうち、所定外労働時間は10.2時間で、所定外労働時間指数は112.1となり、前年同月比9.7%減と3カ月連続の減となった。



### 賃金及び労働時間の動き（調査産業計、事業所規模5人以上）

	実数		指数(H22=100)		対前年同月増減率	
	県	全国	県	全国	県	全国
現金給与総額	329,119 円	431,262 円	127.6	136.2	-1.5 %	1.4 %
定期給与	215,232 円	260,632 円	97.8	99.1	-1.1 %	0.0 %
特別給与	113,887 円	170,630 円	—	—	—	3.6 %
総実労働時間	157.8 時間	149.0 時間	102.1	101.6	-1.6 %	-0.3 %
所定内労働時間	147.6 時間	138.4 時間	101.4	101.5	-1.1 %	-0.2 %
所定外労働時間	10.2 時間	10.6 時間	112.1	103.9	-9.7 %	-1.0 %

(注)1.定期給与とは「きまって支給する給与」のことである。

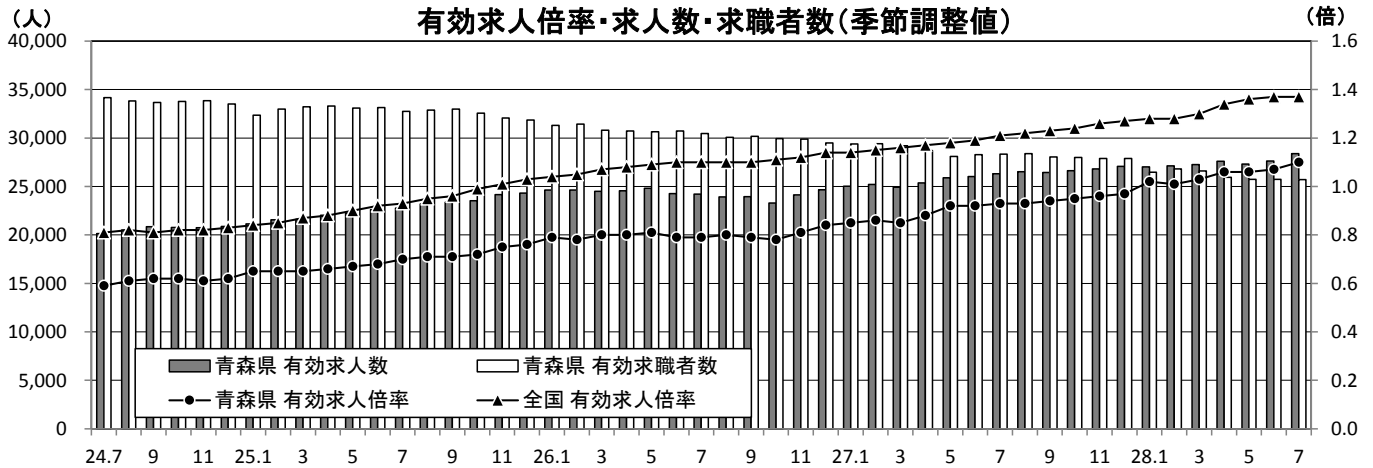
2.前年同月比は指数によって算出している。

3.平成22年1月分から、平成19年11月改訂の日本標準産業分類に基づいて結果の公表をしている。

資料：県統計分析課「毎月勤労統計調査結果（速報）」

## (2-2-2) 有効求人倍率

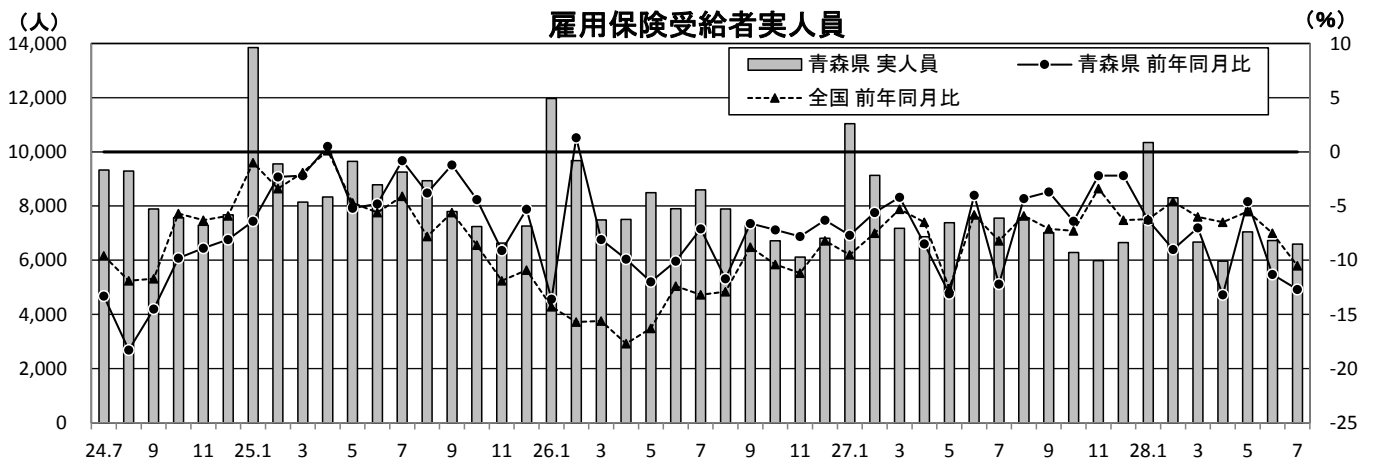
平成28年7月の有効求人倍率（季節調整値）は1.10倍で、前月を0.03ポイント上回り、過去最高となった。



資料：青森労働局職業安定部職業安定課「職業安定業務取扱月報」

## (2-2-3) 雇用保険受給者数

平成28年7月の雇用保険受給者実人員は6,591人で、前年同月比12.7%減となり、29カ月連続で前年同月を下回った。



資料：青森労働局職業安定部職業安定課「職業安定業務取扱月報」、厚生労働省「雇用保険事業月報」

## (2-3) 物価

平成28年7月の青森市消費者物価指数(平成27年=100)は、総合指数が99.3となり、前月と比べ0.2%の下落、前年同月と比べ0.8%の下落となった。

生鮮食品を除く総合指数は99.5となり、前月と比べ0.1%の下落、前年同月と比べ0.9%の下落となった。

食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は100.7となり、前月と同水準、前年同月と比べ0.5%の上昇となった。

総合指数が前月と比べ0.2%の下落となった内訳を寄与度で見ると、食料(生鮮果物など)、被服及び履物(シャツ・セーター・下着類など)などの下落が要因となっている。

総合指数が前年同月と比べ0.8%の下落となった内訳を寄与度で見ると、光熱・水道(他の光熱など)、交通・通信(自動車等関係費など)などの下落が要因となっている。

※ 今月(平成28年7月)分から、公表値が平成22年基準から平成27年基準のものに変わりました。この基準改定は、消費構造を実態とあわせるため5年毎に国が行うもので、基準時の改定、品目の改定、ウエイトの改定などが行われています。

図1 総合指数の動き

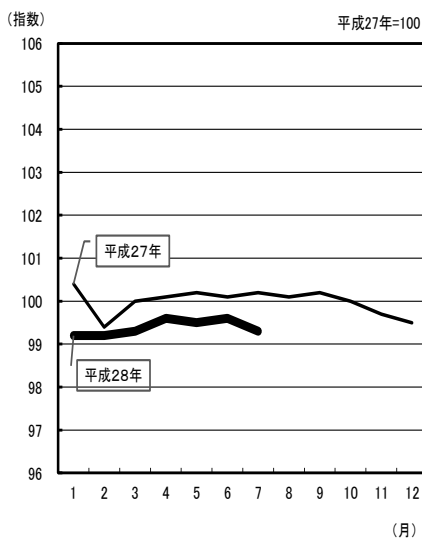


図2 生鮮食品を除く総合指数の動き

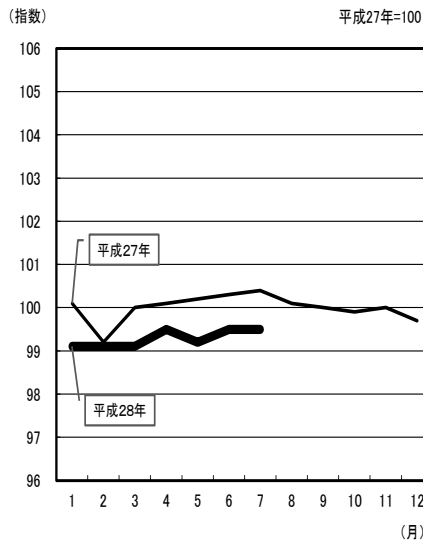
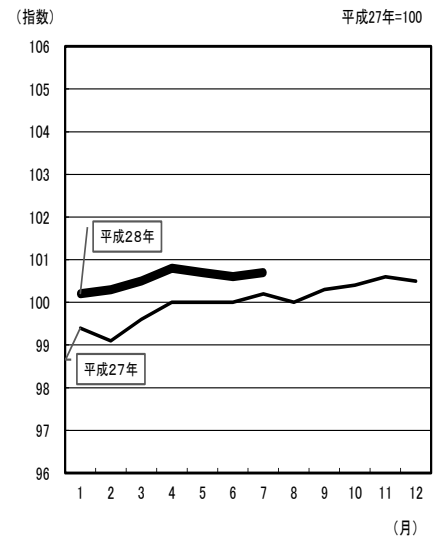


図3 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の動き



### 10大費目指数の動き

(平成27年=100)

	総合	生鮮食品を除く総合	持家の帰属家賃を除く総合	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	食料	生鮮食品	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教娯	養楽	諸雑費
当月指数	99.3	99.5	99.2	100.7	100.8	96.8	100.5	91.4	99.2	101.4	101.1	97.4	102.0	101.7	101.1	
前月比(%)	▲0.2	▲0.1	▲0.3	0.0	▲0.6	▲3.7	▲0.1	▲0.3	▲0.4	▲0.9	0.2	▲0.1	0.0	0.6	▲0.1	
寄与度	—	▲0.06	▲0.23	0.01	▲0.17	▲0.18	▲0.01	▲0.03	▲0.02	▲0.03	0.01	▲0.02	0.00	0.05	▲0.01	
前年同月比(%)	▲0.8	▲0.9	▲1.0	0.5	1.4	1.3	0.4	▲8.7	▲0.8	3.9	0.9	▲4.6	1.6	1.0	0.8	
寄与度	—	▲0.89	▲0.85	0.31	0.39	0.06	0.08	▲0.97	▲0.03	0.12	0.04	▲0.62	0.04	0.08	0.04	

資料: 県統計分析課「消費者物価指数 月報」

※ **寄与度**とは、ある費目の指数の変動が、総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示したものであり、全費目の寄与度を合計すると、原則として、総合指数の前月比及び前年同月比(%)の値に一致する。

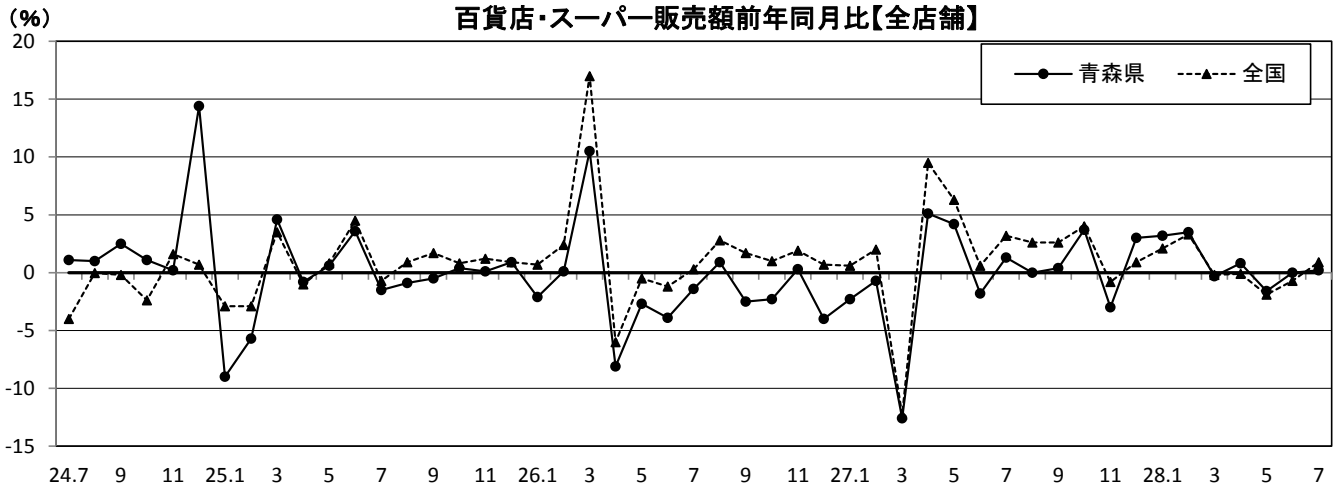
前月比、前年同月比及び寄与度は、端数処理前の指数値を用いて計算しているため、公表された指数値を用いて計算した値とは一致しない場合がある。

本資料は総務省統計局「小売物価統計調査」の調査票情報を独自集計したものである。

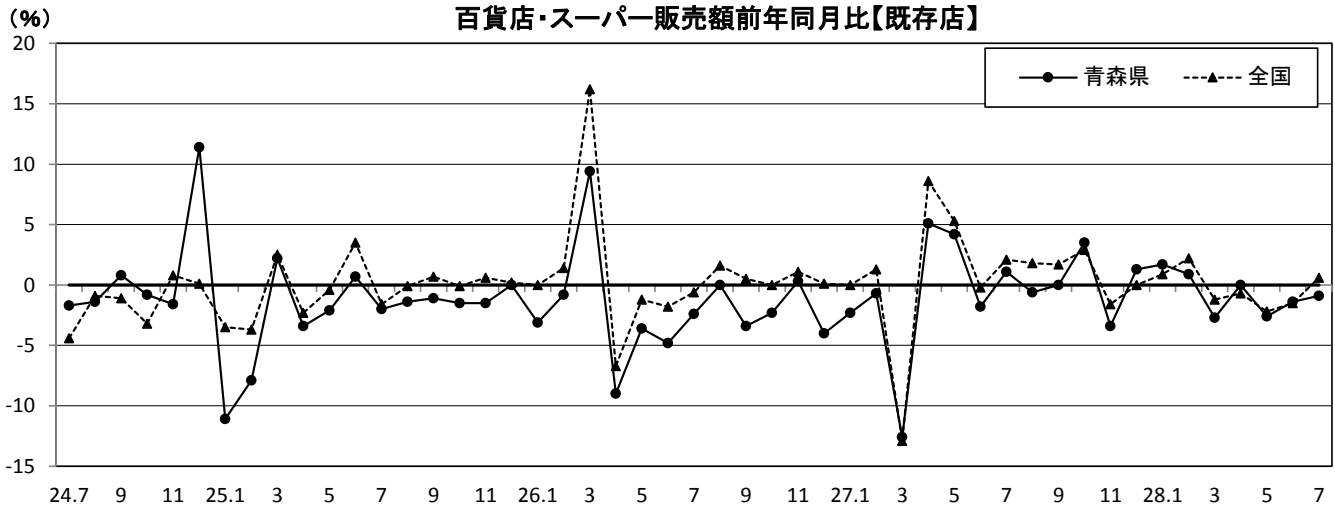
## (2-4) 個人消費

### (2-4-1) 百貨店・スーパー販売額

平成28年7月の百貨店・スーパー販売額は、全店舗ベースが141億円で前年同月比0.2%増となり、3カ月ぶりに前年同月を上回った。また、既存店ベースでは前年同月比0.9%減となり、5カ月連続で前年同月を下回った。



資料：東北経済産業局「東北地域百貨店・スーパー販売額動向」、経済産業省「商業動態統計速報」

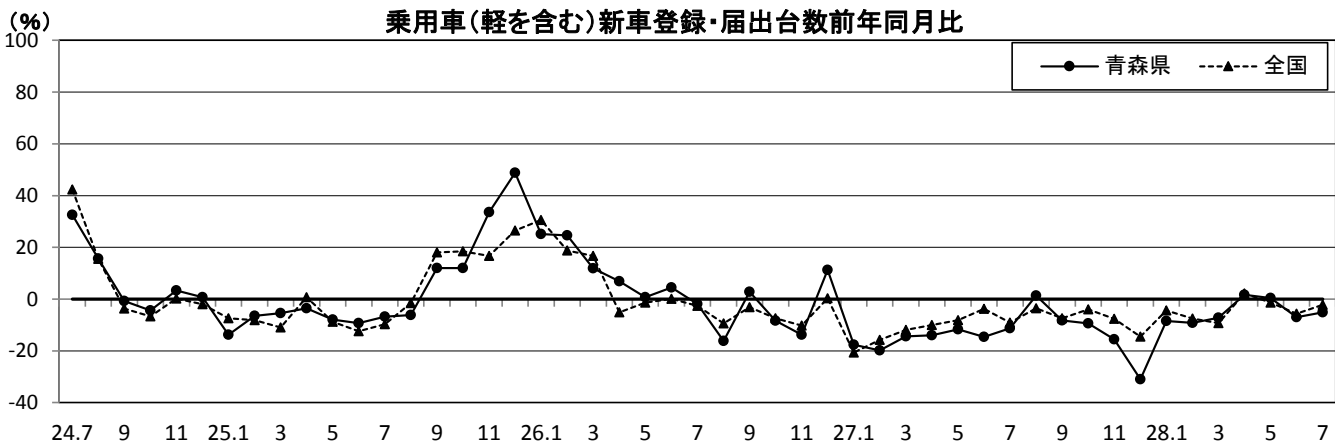


資料：東北経済産業局「東北地域百貨店・スーパー販売額動向」、経済産業省「商業動態統計速報」

\* 大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メートル以上の商店をいう。そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。

### (2-4-2) 乗用車新車登録・届出台数

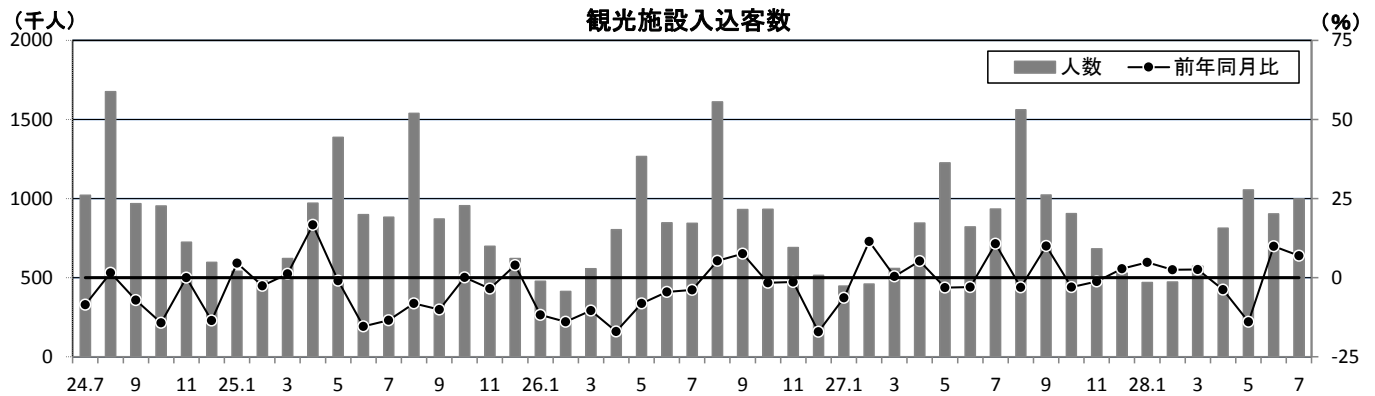
平成28年7月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は3,848台で、前年同月比5.1%減となり、2カ月連続で前年同月を下回った。小型車、軽乗用車が減少したことによる。



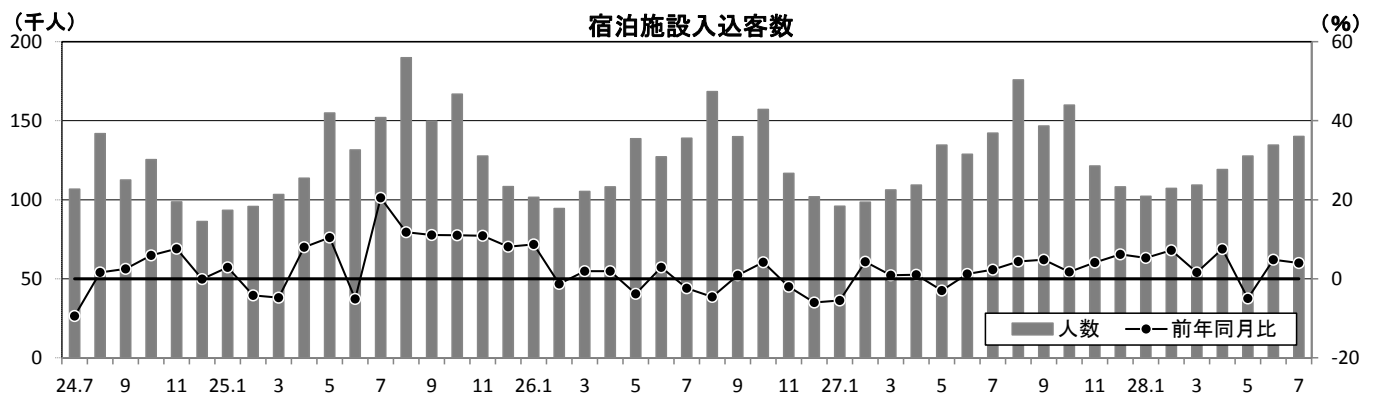
資料：日本自動車販売協会連合会青森県支部「自動車登録状況 新車月報」、同連合会「自動車統計データ」

### (2-4-3) 観光入込客数

平成28年7月の観光入込客数は、主な観光施設が998千人で前年同月比6.9%増となり、2カ月連続で前年同月を上回った。また、主な宿泊施設は140千人で前年同月比4.0%増となり、2カ月連続で前年同月を上回った。観光施設は青森市、むつ市等の施設で増加し、宿泊施設は八戸市、弘前市の施設で増加したことによる。



資料：県観光企画課「月例観光統計」※観光施設34施設（H24年1月～H26年3月は35施設、H26年4月以降は34施設対比）

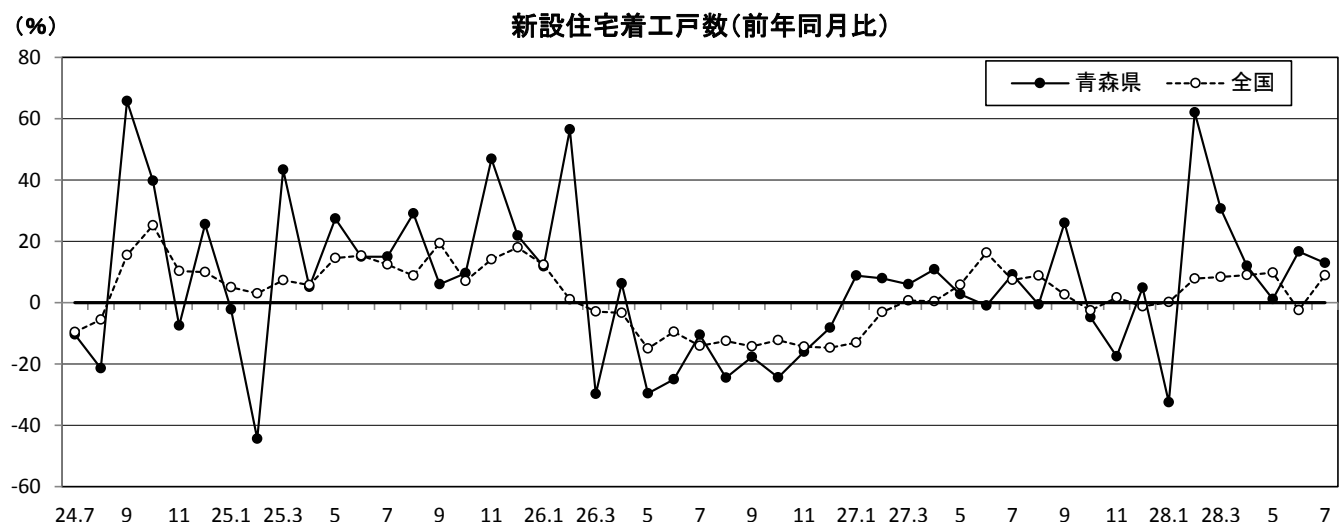


資料：県観光企画課「月例観光統計」※宿泊施設54施設（H24年1～3月は57施設、H24年4～9月は60施設、H24年10～11月は61施設、H24年12月～H26年3月は57施設、H26年4～12月は56施設、H27年1～12月は55施設、H28年1月以降は54施設対比）

### (2-5) 建設

#### (2-5-1) 住宅建設

平成28年7月の新設住宅着工戸数は687戸で前年同月比13.0%増となり、6カ月連続で前年同月を上回った。貸家、持家等が増加したことによる。

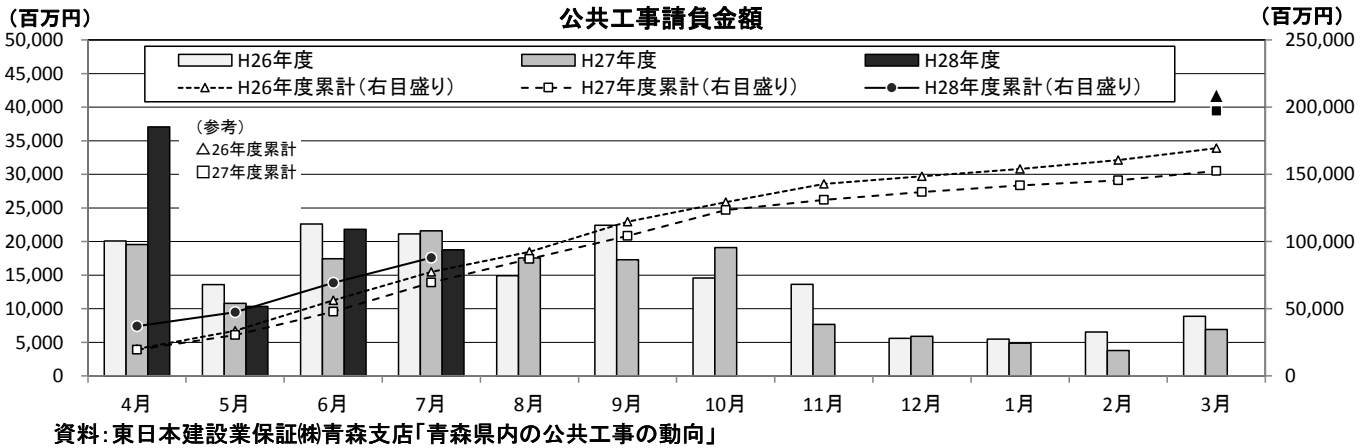


資料：県建築住宅課「建築着工統計」、国土交通省「建設統計月報」



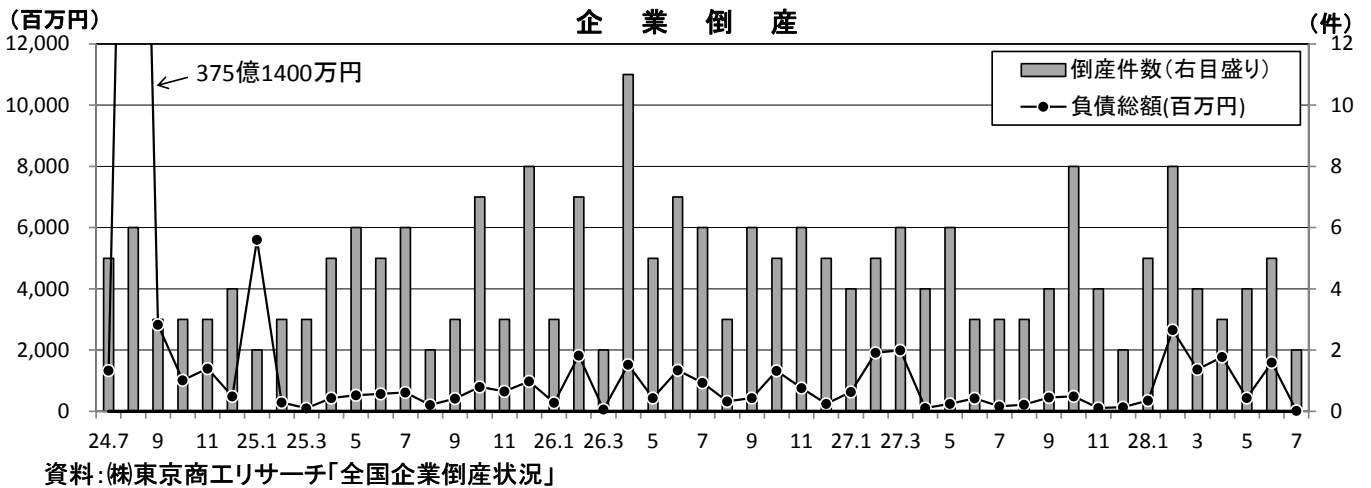
## (2-5-2) 公共事業

平成28年7月の公共工事請負金額は187億6,500万円で前年同月比13.1%減となり、国、市町村等の減少により2カ月ぶりに前年同月を下回った。また、7月までの累計金額は879億6,600万円で前年同期比26.8%増となった。



## (2-6) 企業倒産

平成28年7月の企業倒産は、件数は2件で前年同月比33.3%減となった。負債総額は2,200万円で前年同月比86.4%減となった。負債総額の前年同月比は、10億円を超える大型倒産の発生がなく、件数も減少したことから減少した。



### (3) 青森県景気動向指数

平成28年5月の青森県景気動向指数（C I）は、先行指数 98.0、一致指数 139.8、遅行指数 122.1 となった。

先行指数は、前月を 2.8 ポイント下回り、3 カ月ぶりに下降した。

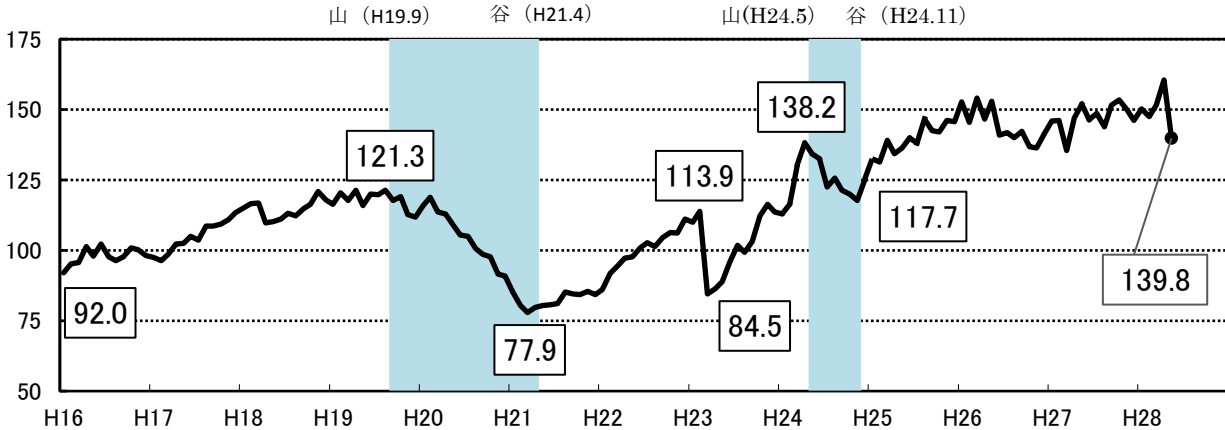
一致指数は、前月を 20.7 ポイント下回り、3 カ月ぶりに下降した。

遅行指数は、前月を 0.3 ポイント下回り、6 カ月ぶりに下降した。

5月の一致指数は生産・消費関連の指標がマイナスになったことから下降した。

景気動向指数（CI一致指数）の推移

(H22=100)



※シャドー部分は本県景気の後退局面

●個別系列の動き（各指標は季節調整等を行い、寄与度を前月と比較しています）

寄与度がプラスの指標			寄与度がマイナスの指標		
<b>先行系列</b>					
企業倒産件数	1.33	2カ月連続	建築着工床面積	-1.85	3カ月ぶり
日経商品指数（42種）	0.10	3カ月連続	中小企業景況DI	-1.48	3カ月ぶり
新設住宅着工床面積	0.02	3カ月ぶり	新規求人倍率（全数）	-0.72	2カ月ぶり
			乗用車新車登録届出数	-0.32	3カ月ぶり
			生産財生産指数	-0.08	2カ月ぶり
<b>一致系列</b>					
			鉱工業生産指数	-5.88	5カ月ぶり
			投資財生産指数	-4.96	2カ月ぶり
			旅行取扱高	-3.31	3カ月ぶり
			所定外労働時間指数（全産業）	-2.32	2カ月連続
			有効求人倍率（全数）	-1.72	3カ月ぶり
			百貨店・スーパー販売額（既存店）	-1.34	2カ月ぶり
			輸入通関実績（八戸港）	-1.14	2カ月ぶり
<b>遅行系列</b>					
家計消費支出（勤労者世帯：実質）	3.03	4カ月ぶり	公共工事請負金額	-3.44	3カ月ぶり
県内金融機関貸出残高	0.81	2カ月ぶり	有効求職者数（全数）	-1.03	3カ月ぶり
常用雇用指数（全産業）	0.74	3カ月ぶり	りんご消費地市場価格	-0.63	2カ月連続
青森市消費者物価指数（総合）	0.02	2カ月連続			

資料：県統計分析課「青森県景気動向指数月報」

(参考) 青森県景気動向指数（D I）

先行指数	62.5%	(2カ月連続で50%を上回った)
一致指数	28.6%	(14カ月ぶりに50%を下回った)
遅行指数	57.1%	(3カ月ぶりに50%を上回った)